

亀岡市内事業所の市民活動への参画  
状況に関するアンケート  
調査結果

## 1 アンケート調査の概要

(1) 調査目的 市内の事業者の市民活動への参画の状況や意識についての現状を把握し、今後の事業者を巻き込んだ市民協働の推進方法の検討材料とするため当該調査を実施します。

### (2) 調査方法

- ・ 郵送による依頼および調査票の送付。
- ・ 郵送、ファックス、持参、メールでの提出、もしくはWEBフォームから回答。

### (3) 調査対象

500事業所（無作為抽出）

### (4) 実施時期

令和4年1月28日～令和4年3月18日

### (5) 調査項目

市民活動への参画状況、方法、分野、協働の相手

参画のきっかけ、感想

参画していない理由

今後の参画の方向性、興味

市民活動推進センターについて

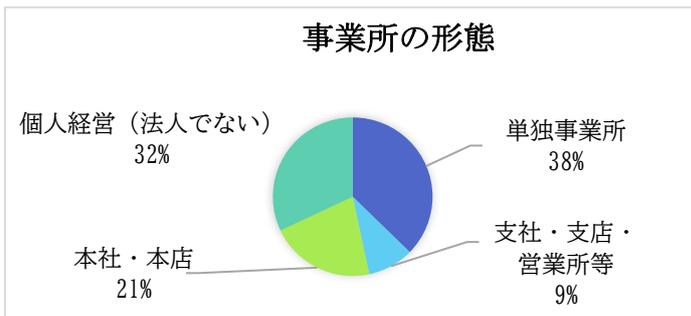
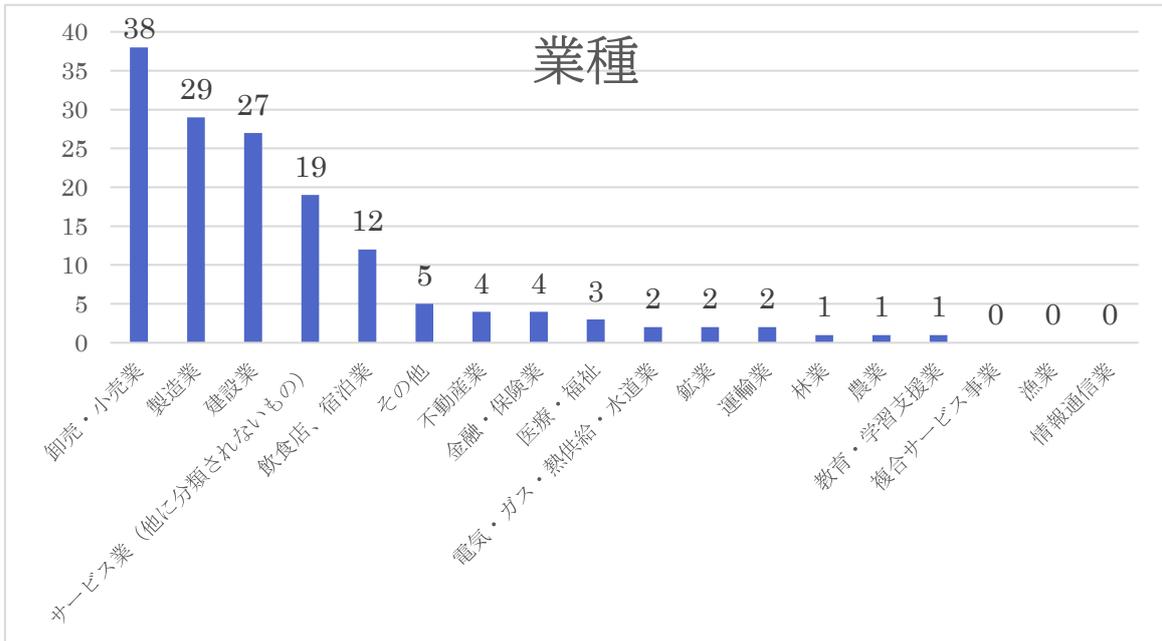
その他

### (6) 回収結果

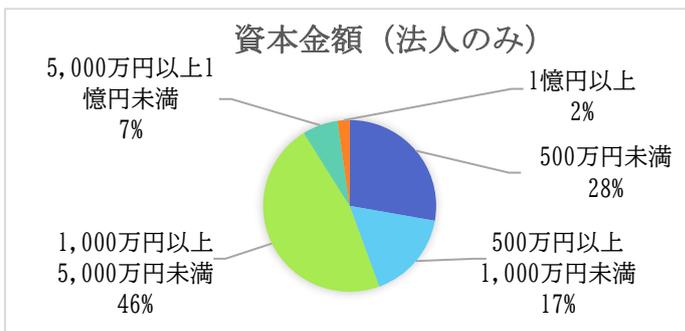
依頼数	回答数	回答率
500事業所	150事業所	30%

## 2 調査結果

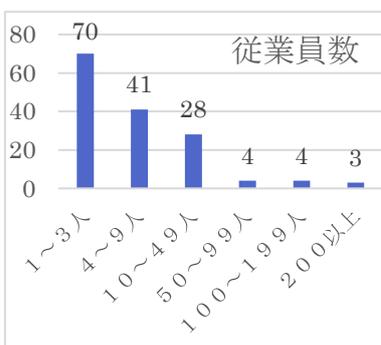
### Q 1～7 回答した事業所について



選択肢	回答数
単独事業所	56
支社・支店・営業所等	14
本社・本店	32
個人経営 (法人でない)	48



金額	回答数
500万円未満	25
500万円以上 1,000万円未満	15
1,000万円以上 5,000万円未満	42
5,000万円以上 1億円未満	6
1億円以上	2

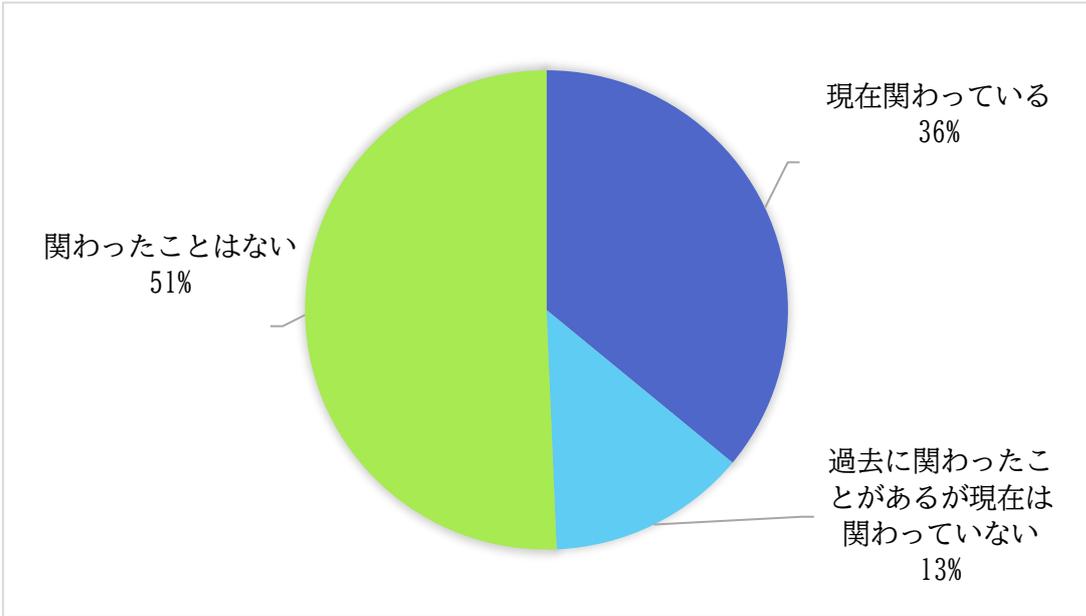


従業員数  
平均：16.34人  
中央値：4

業種としては、卸売・小売業、製造業、建設業の上位三位で6割以上を占める結果となった。

事業所の規模については、個人経営や単独事業所が多く、従業員数についても10人未満が大半を占め、小規模な事業所から多く回答をいただいた。

Q8 これまでに市民活動に関わったことがありますか？



【業種別内訳】 ( ) 内の数字は各業種のうち回答した割合 ※単位：%

	回答数 合計	卸売 小売	製造	建設	サービス	飲食店 宿泊	その他	不動産	金融 保険	医療 福祉	電気 ガス 熱供給 水道	鉱業	運輸	林業	農業	教育 学習支援
現在関わっている	54 (36)	9 (24)	9 (31)	11 (41)	7 (37)	5 (42)	1 (20)	2 (50)	2 (50)	2 (67)	1 (50)	1 (50)	2 (100)	1 (100)	1 (100)	0 (0)
過去に関わったことがあるが現在は関わっていない	20 (13)	5 (13)	6 (21)	2 (7)	3 (16)	1 (8)	1 (20)	1 (25)	1 (25)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
関わったことはない	76 (51)	24 (63)	14 (48)	14 (52)	9 (47)	6 (50)	3 (60)	1 (25)	1 (25)	1 (33)	1 (50)	1 (50)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (100)

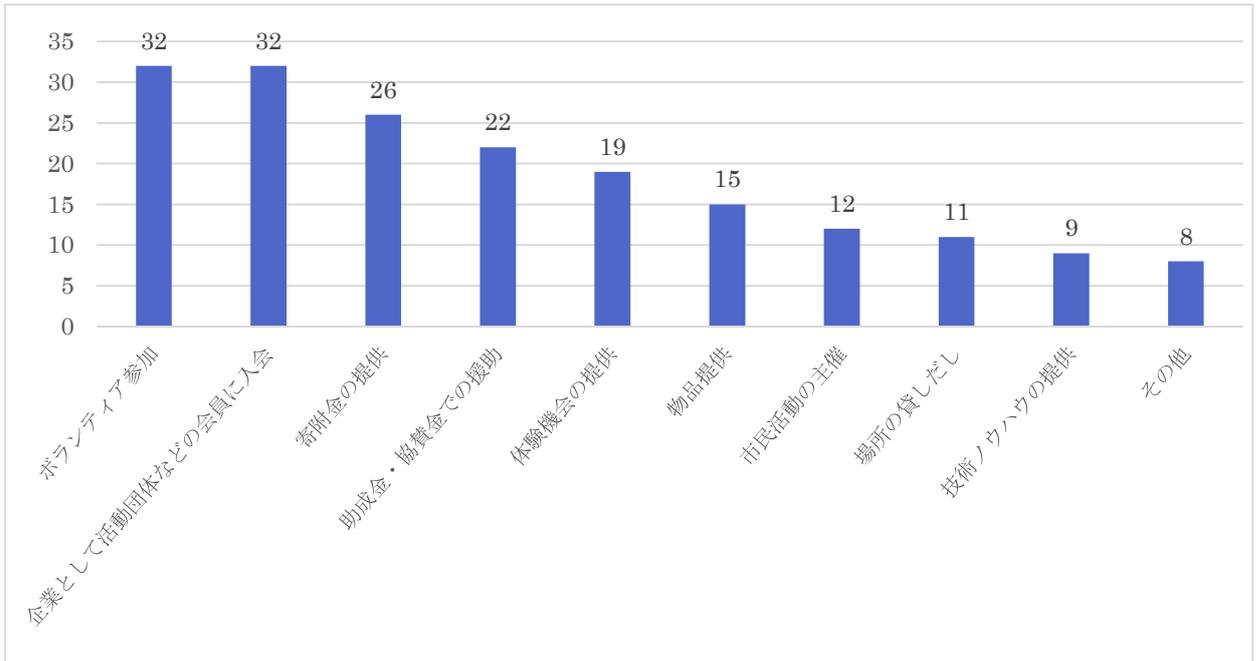
【事業所の形態別】 ( ) 内の数字は各事業所の形態のうち回答した割合 ※単位：%

	回答数 合計	単独事業所	支社・支店・ 営業所等	本社 本店	個人経営 (法人でない)
現在関わっている	54 (36)	20 (36)	4 (29)	15 (47)	15 (31)
過去に関わったことがあるが現在は関わっていない	20 (13)	7 (13)	3 (21)	5 (16)	5 (10)
関わったことはない	76 (51)	29 (52)	7 (50)	12 (38)	28 (58)

市民活動へのかかわりの有無については、「関わったことはない」が半数を若干超える結果となった。回答を業種別にみると、「卸売・小売業」のうち「関わったことはない」と回答した割合が63%と1事業者のみが回答した「教育・学習支援」に次いで高かった。

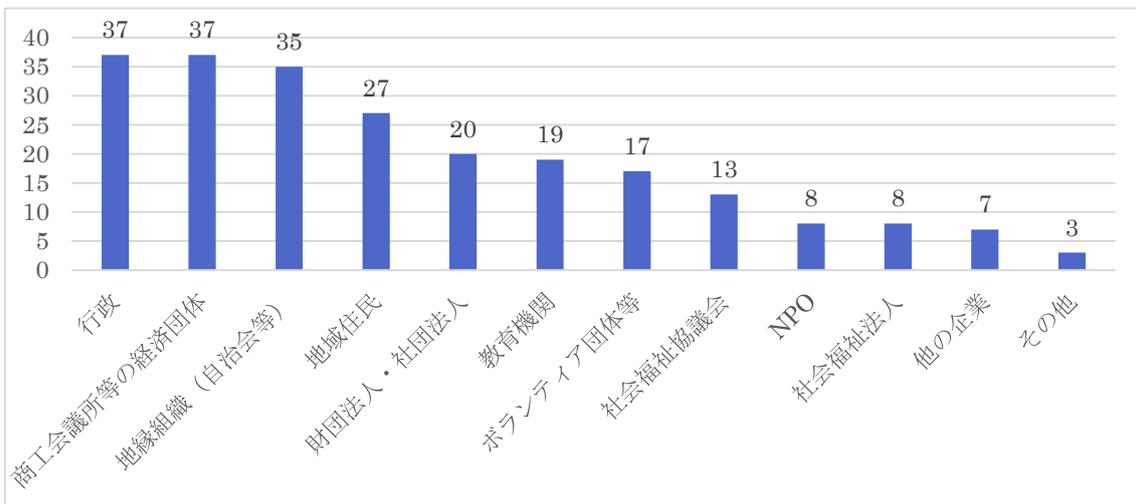
事業所の形態ごとでは「関わったことはない」割合が最も高かったのが、「個人経営」、次いで「単独事業所」、「支社・支店・営業所」、「本社・本店」の順になった。

Q9 関わっている（いた）方法について該当するものすべてに✓をつけてください。



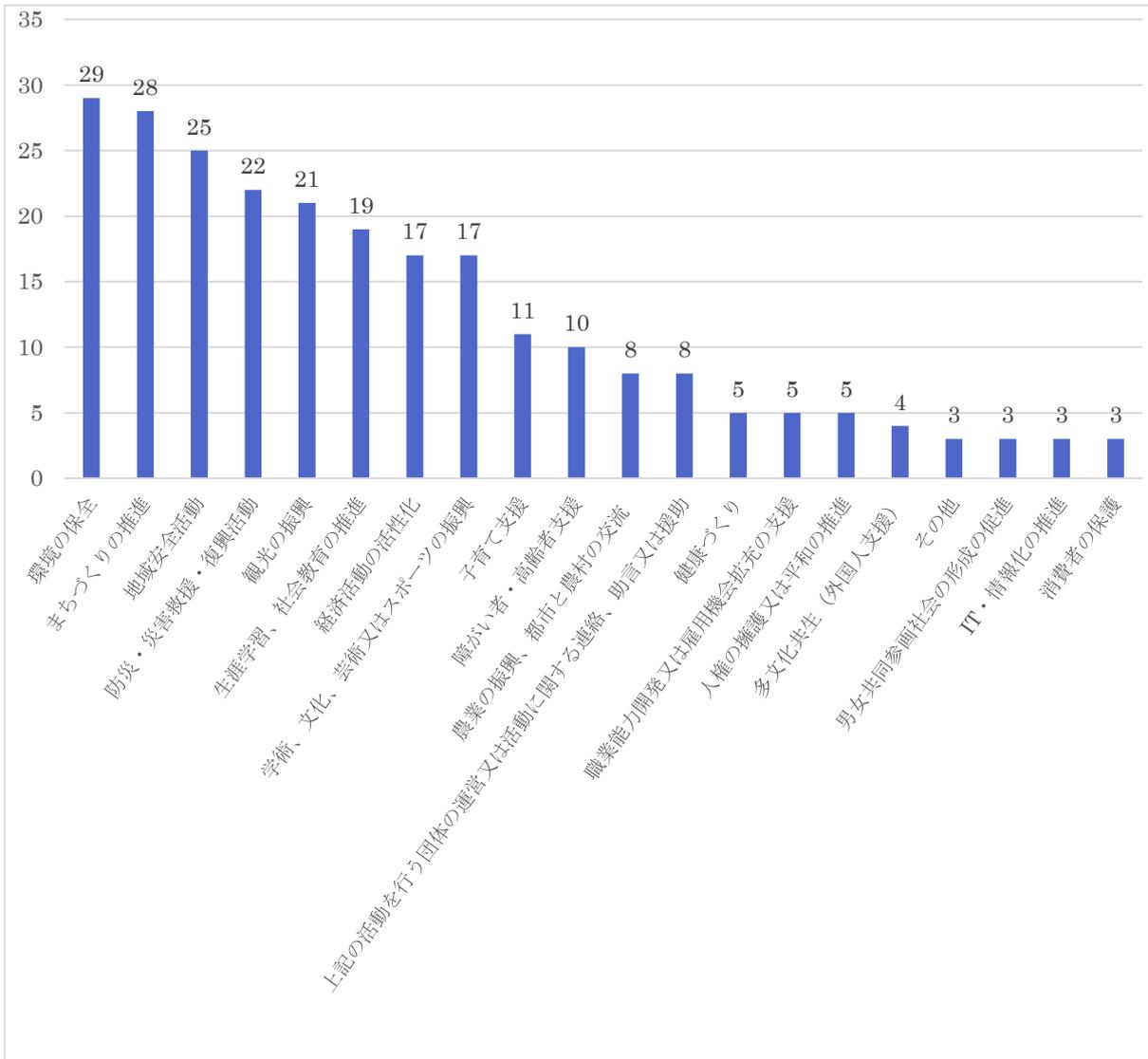
関わりの方方法としては「ボランティア参加」「企業として活動団体などの会員に入会」が最も多く、次いで「寄附金の提供」「助成金・協賛金での援助」という結果となり、活動や団体に参加・加盟したり、財政面での援助という形がほとんどとなった。

Q10 関わっている（いた）相手について該当するものすべてに✓をつけてください。



関わりの相手としては「行政」、「商工会議所などの経済団体」が同数で最も多く、次いで「地縁組織」となり、地域に関わったり、社会貢献につながる活動をする比較的大規模の組織の活動に関わっている割合が多い。

Q 1 1 関わっている（いた）活動分野について該当するものすべてに✓をつけてください。



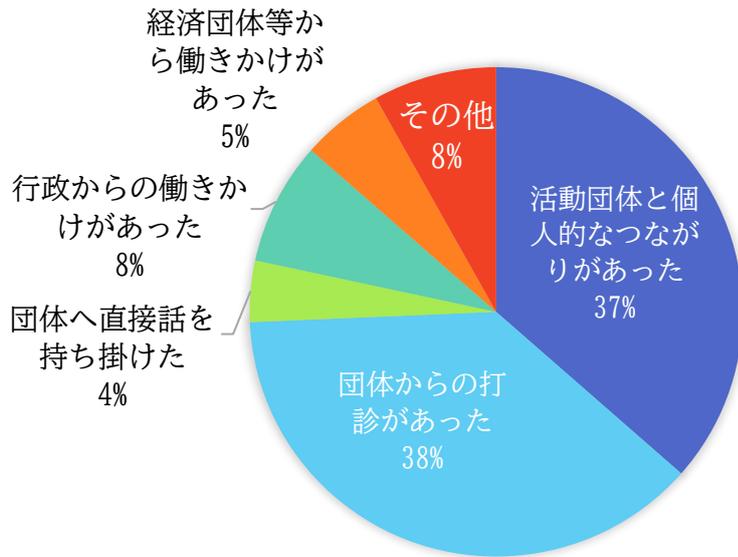
Q 1 2 関わっている（いた）具体的な内容についてご記入ください。（抜粋）

- ・市や、自治会等が実施するイベントへの協賛、寄附 ・福祉団体などへの寄附
- ・給水スポットの提供 ・教育機関の体験、見学の受け入れ
- ・みどりのカーテンの設置及び設置補助
- ・児童福祉施設の後援会に加入 ・小学校の授業で自社技術を活用した指導
- ・清掃活動の実施、他団体が行う清掃活動への従業員の参加
- ・経済団体の会員として、子供むけイベントの運営などのボランティア活動の実施
- ・介護施設などからの依頼で不用品を引き取り、使えるものを希望者に無償や低額で提供
- ・事業内容に関する、体験やイベントの開催

関わっていた分野、内容については「環境の保全」、「まちづくりの推進」、「地域安全活動」の順に多かった。

突出してどの分野が多いという傾向はみられないが、具体的な内容の記述では、清掃活動の実施、従業員の清掃活動への参加や各種事業・イベントへの協賛や寄附といった業種に関わらず参加できる内容の関わりが多かった。一方で事業内容に関係する技術・知識を活かして活動を主催したり、他団体の活動に協力するといった内容も見られた。

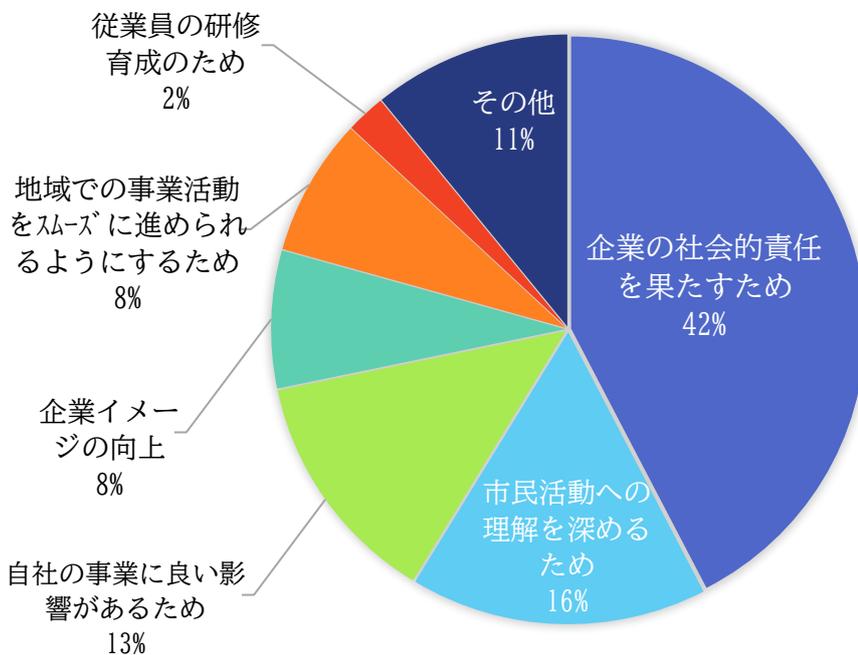
Q13 関わっている（いた）きっかけについて該当するもの1つに✓をつけてください。



	回答数
活動団体と個人的なつながりがあった	27
団体からの打診があった	28
団体へ直接話を持ち掛けた	3
他団体から仲介があった	0
行政からの働きかけがあった	6
経済団体等から働きかけがあった	4
その他	6

関わりのきっかけとしては「団体からの打診があった」、「団体と個人的なつながりがあった」の2つの回答で7割を超えている。市民活動への参加のために団体にコンタクトをとるといふより、話がきたり、もともと繋がりがあることがきっかけとなっていることが多いという結果になった。

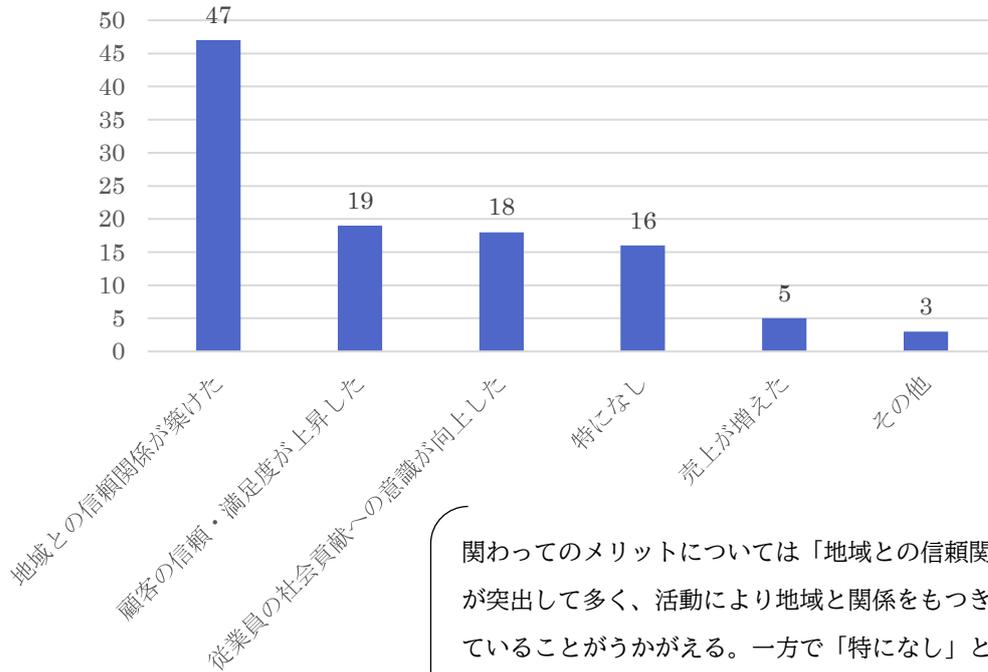
Q14 関わっている（いた）目的について該当するもの1つに✓をつけてください。



	回答数
企業の社会的責任を果たすため	39
市民活動への理解を深めるため	15
自社の事業に良い影響があるため	12
企業イメージの向上	7
地域での事業活動をスムーズに進められるようにするため	7
従業員の研修育成のため	2
その他	10

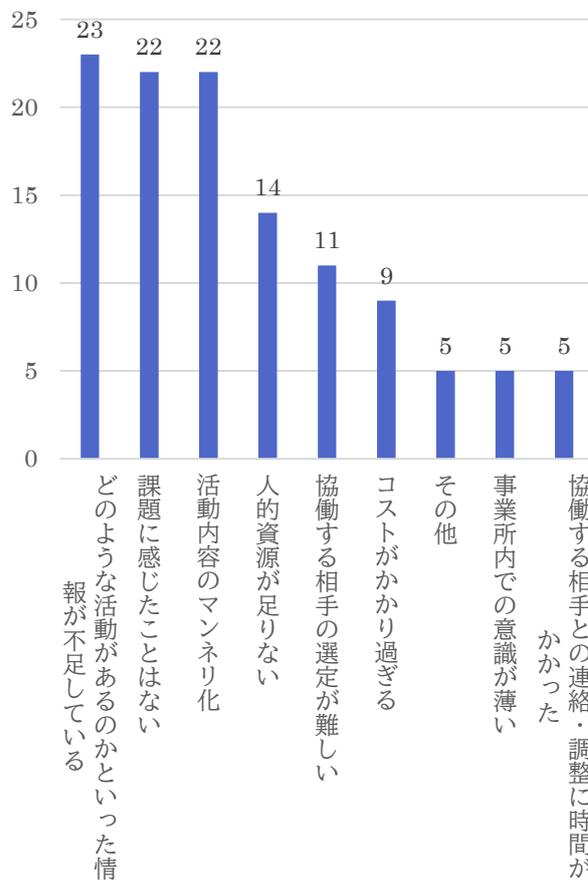
関わっている（いた）目的については「企業の社会的責任を果たすため」が最も多く、4割を超えた。自社にとっての直接的なメリットより、企業の社会的責任や活動への理解を深めるといった目的が多いという結果になった。

Q15 実際に関わってみて、メリットはありましたか？該当するものすべてに✓をつけてください。



関わってのメリットについては「地域との信頼関係が築けた」が突出して多く、活動により地域と関係をもつきっかけになっていることがうかがえる。一方で「特になし」と回答し、メリットがないと感じる事業者もあった。

Q16 実際に関わってみて、課題に感じたことはありますか？該当するものすべてに✓をつけてください。



回答の多かった上位3位を見ると「課題に感じたことはない」と回答した事業者も多かったが、一方で「活動に関する情報不足」「活動内容のマンネリ化」という意見もあった。「人的資源不足」「事業所内での意識が低い」といった事業所内部の課題よりも、活動を始めるとあたってや、活動そのものに課題を感じている傾向がある。

Q17 市民活動に関わっての感想をご記入ください。

(Q8 で現在は関わっていないと回答された方は、現在関わっていない理由もご記入ください。)

**【現在かかっている】**

《肯定的なご意見》

- ・市民（参加者）と直接関わる事は満足感、充実感が得られる。／・地元愛の確認ができる。
- ・地域との関わりが築けた。会社の社会的責任が果たせた。企業イメージが向上した。
- ・最近ではコロナで人の流れも悪いですが、地域の人とのふれあいがあること、近所に何がどんな人たちが住んでいるのか？少しでも気づいていくきっかけになればと思います。
- ・業種的に生かせる分野であれば、無理のない範囲で協力して地域に貢献できてよかった。よいことだと思います。
- ・エコウォーカー活動に参加することでエコや SDGs への職員の理解が深まった。各種イベントへ参加することで御市に対する親しみがより深くなった。
- ・人から「ありがとう」と言ってもらった時はすごく充実していると思っていました。現在も少しは関わっています。
- ・新しい情報や交流が深められて良かった。／・社会貢献への意識が高まった。
- ・小学校での活動で、子供達との関わりの中で、心の交流や文化の伝達が出来て、とても良かった。今後も依頼があれば、出来る事は協力しようと思う。
- ・弊社は企業としての社会的責任を重視しており、今後とも CSR 活動を通じて地域の皆様に貢献していく。
- ・地元地域の活動に参加する事は自社の宣伝につながり仕事の確保に直結していると思います。また、多くの他業種の方々や地域の市民の皆さんと知り合うことで、これから起こりうる災害の防災や救助などができると思います。
- ・地域住民の生活環境や子供達の成長をみて、地域に今何が必要か感じて日々を暮らしております。少しでも役にたっていればいいと思う。
- ・直接的に関わっていませんが、通学路における安全性向上に役立てれば嬉しいです。
- ・自治会からの働きかけで活動に協力した。皆さん熱心に取り組み喜んで頂いた。

《課題やよりよい活動へのご意見》

- ・小規模の企業としては、日々の業務に追われ、時間がなかなか取れないのが現状で、夜間の参加が中心となり日中の活動は休日以外は難しい。／・時間的余裕が必要。
- ・交通安全に 35 年間奉仕活動しましたが街頭活動中それを無視して走るドライバーがまれにいた事が残念でなりません。／・行政に頼らない自発的自立的な活動には、やりがいはあるが資金的に厳しい。
- ・マンネリ化と同一人物（団体）であり変化がないように感じています。
- ・本当に能力のある経営者が町のために尽力してない。／・あまり活動内容が理解されていない。
- ・どんな活動でもよりわかりやすく、より身近になれば良いかと。
- ・いろいろな団体の協働がスムーズに行かない。目的は違えど、亀岡で生活や事業を展開しているので、同じ方向に向く会議が必要と感じる。又、年代による考え方の違いが多いが、歩み寄り未来の事を真剣に考え協力がなければ良い意見も反映されない。
- ・行政、団体への協賛も通例となってしまっているように思える。

《行政に対する意見》

- ・行政の支援体制が分かりにくい。
- ・市政も本気度が伝わってこない。やる事が全て中途半端で終わってしまってる。本質のないものが多い。
- ・行政担当者含め、市民の豊かな生活構築を目指して活動させていただきたいと思い活動しております。概ね満足した活動ができておりますが、部門や関連団体とを結びつける部署等が希薄であると感じております。

**【かかっていた】**

《現在かかっていない理由》

- ・団体に加入していた時は活動していたが、卒業したので。／・人材不足、資金不足。
- ・時間的に余裕がない。
- ・自社でなければできないこと、意義が見いだせない。／・（行事が）行われていないので寄付していない。

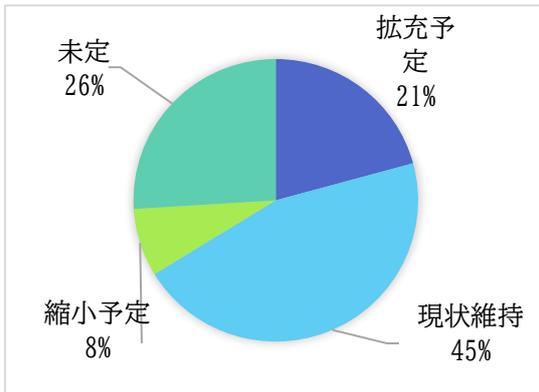
《感想》

- ・現在はそのような機会が無いが、働きかけがあれば行いたく思う。／・住民様に貢献できたと思います。

自由記述による市民活動に関わっての感想では、「現在関わっている」と回答した事業所からは、肯定的な意見、課題やよりよい活動への意見、行政に対する意見が見られた。肯定的な意見としては様々な理由から参加してよかったといった意見や、今後もかかわっていききたいという意見が多く見られた。課題やよりよい活動への意見としては、活動への参加の時間的資金的難しさや活動自体がマンネリ化している、活動が知られていないといった意見があった。また、行政のサポートについての意見もいただいた。

「過去に関わっていて現在関わっていない」と回答した事業者については、さまざまな理由から現在は関わっていないという回答や、機会があれば参加したいという回答があった。

Q18 今後の市民活動への参画の方向性について、該当するもの一つに✓をしていただき、その理由もお答えください。



選択肢	回答数
拡充予定	16
現状維持	35
縮小予定	6
未定	20

【各解答の理由】※同内容の記述についてはまとめて記載しています。

**拡充** 地域社会とのつながり強化のため。／生きがいのため。／市との連携をより深めていきたい。／地域住民のお役に立ちたい。／地域などから依頼がよくある。／人と人とのつながり、社会と職業とのつながりのため。／亀岡市の文化の向上のためより規模を大きくして実施したい。／生活拠点なので、少しでもお返しを続けたい。／他地域での活動も出来たら。／計画を達成するまで続ける。／他分野の活動もより重視していく。／今後も積極的に参加したい。

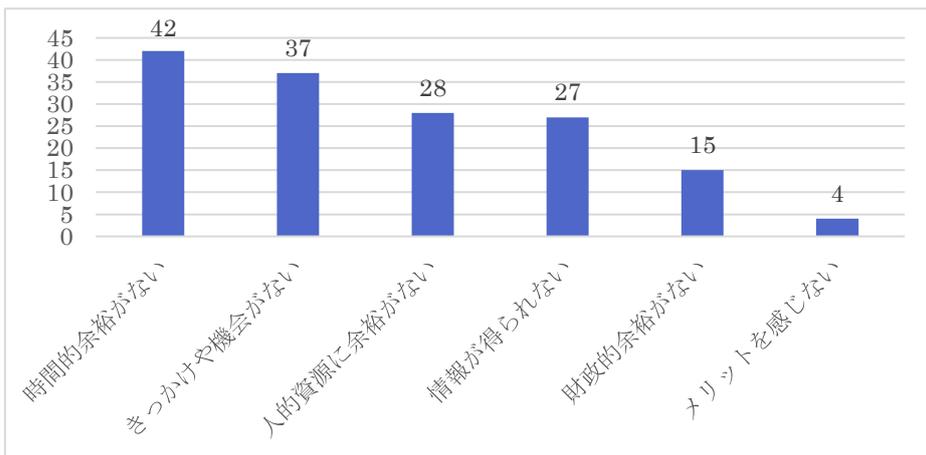
**維持** 新型コロナの影響。／時間的余裕がない。／年齢。／体力的につらい。／本業の妨げにならない範囲で参加していきたいから。／今後も頑張らせていただきます。／その時に出来る範囲で参加していきたいので、現状を維持しつつ拡充できればしていきたい。／今以上参加するのは困難な為。／必要最小限のボランティアしか出来そうにない。／無理なく参加できる範囲である為。／地元への社会貢献として、現在の形が最適。／無理のないように／現状維持が望ましいので。／できるだけ実施していきたい。(会社が続けられれば続けていきたい。)

**縮小予定** メリットがない。／本業の負担軽減の為。／年齢と経済的な問題。

**未定** たくさんの役はできないため。／様々な条件、状況を見極めるため。／今後の予定が未定である為。／現在はそのような機会が無いが、働きかけがあれば行いたく思う。／本業の中で貢献したい。

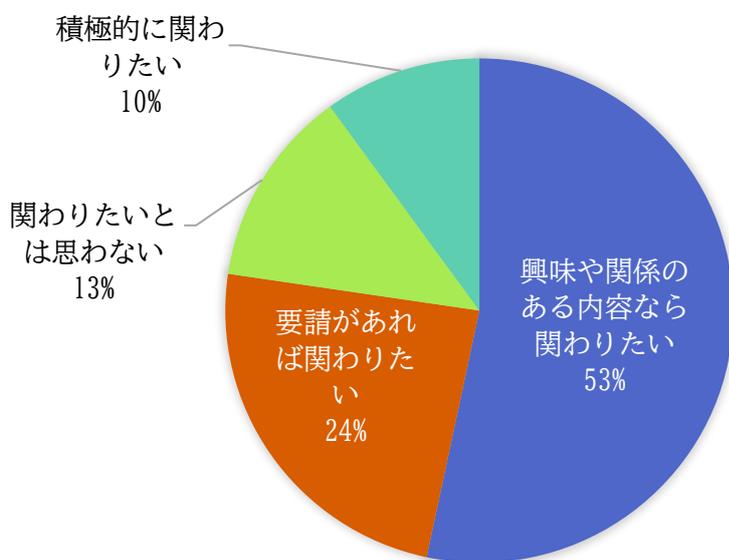
今後の市民活動への参画の方向性としては「現状維持」が45%と最も多く、理由としてはコロナの影響で先が見通せないといった意見のほかに今の参画状況が望ましい、拡充することは厳しいといったものが挙がった。次いで多いのが「拡充予定」で、規模を大きくしたり、他分野や他地域でも積極的に活動したいといった理由の回答があった。一方「縮小予定」と答えた団体は8%で負担になっていることや、メリットを感じないことが理由に挙がった。未定と答えた事業所については、今後の予定が未定であるといった理由や、機会があればといった理由を回答した。

Q 19 関わっていない理由について該当するものすべてに✓をつけてください。



関わっていない理由では、「時間的余裕がない」「きっかけがない」「人的資源に余裕がない」の順に多く、市民活動に参加する意志がないというより、余裕のなさや情報・きっかけのなさが理由となっている結果となった。

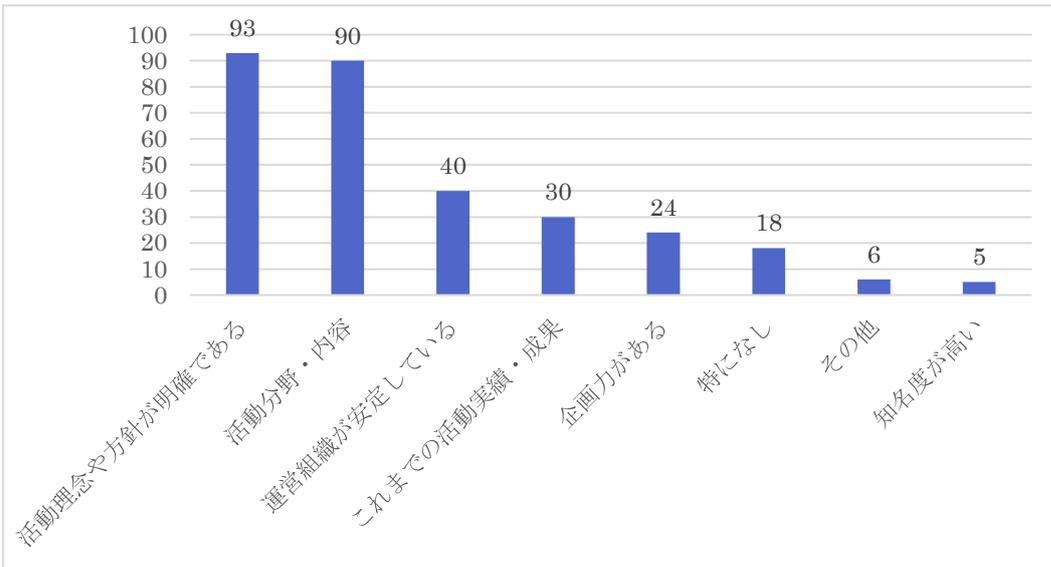
Q 20 今後、市民活動に関わりたいとお考えですか？



	回答数
興味や関係のある内容なら関わりたい	80
要請があれば関わりたい	36
関わりたいとは思わない	19
積極的に関わりたい	15

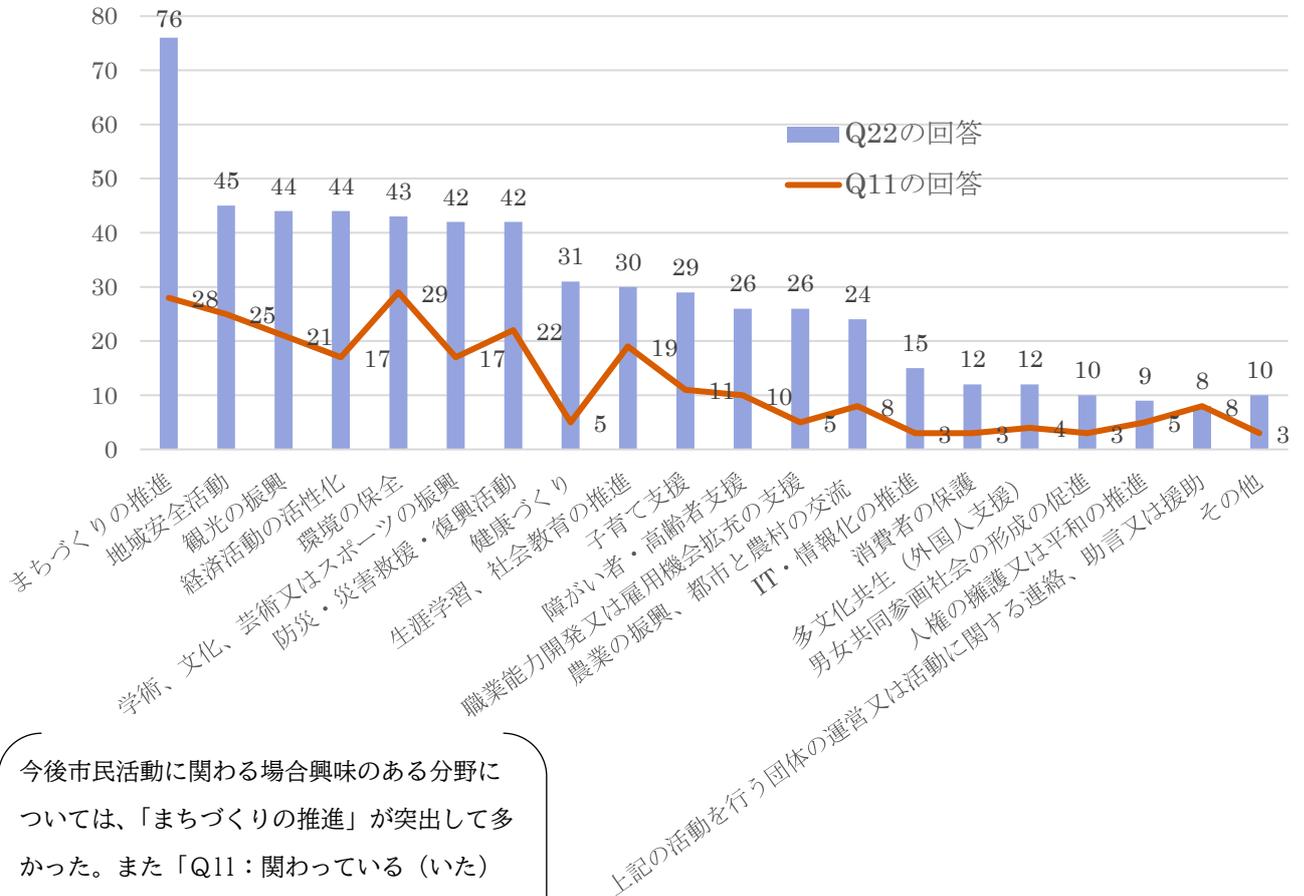
今後市民活動に関わりたいかどうかについては、内容によって関わりたいが最も多く、要請があれば関わりたいが続いて多く、積極的にかかわりたいと回答した事業所は全体の1割にとどまった。また関わりたくないと回答した事業所も全体の約13%となった。

Q21 今後、市民活動に関わる場合、協働する相手を選定する時に重要視することに✓してください。(最大3つまで)



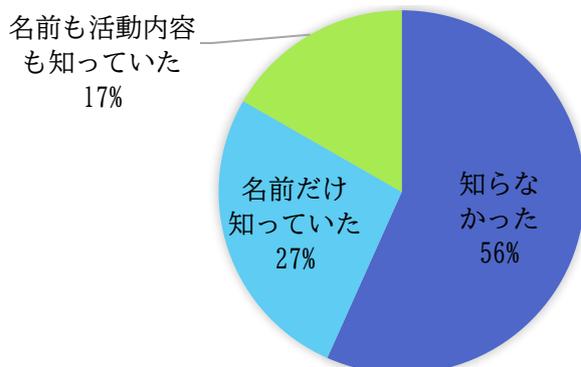
協働する相手を選定する際に重視することについては「活動理念や方針が明確である」、「活動分野・内容」の2つが特に多く、組織自体の安定性や実績、知名度などを大きく上回った。

Q22 今後、市民活動に関わる場合、興味のある活動分野について該当するものすべてに✓をつけてください。



今後市民活動に関わる場合興味のある分野については、「まちづくりの推進」が突出して多かった。また「Q11：関わっている(いた)分野」の回答の多かった順と比較すると、大きく順位の変ったものはみられなかった。

Q 2 3 ガレリアかめおか3階に「かめおか市民活動推進センター」があります。相談業務や講座の開催、情報発信、会議室等の貸出を通じて市民活動の支援を行っています。これまでに「かめおか市民活動推進センター」を知っていましたか？

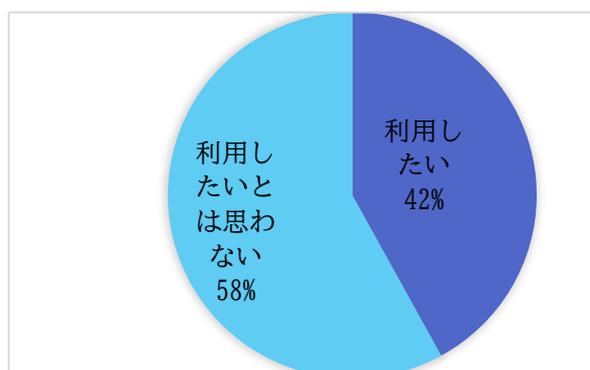


	回答数	うち市民活動への参画状況内訳 (Q 8)		
		関わっている	関わったことがある	関わったことはない
名前も活動内容も知っていた	25 (17)	17 (31)	4 (20)	4 (5)
名前だけ知っていた	40 (27)	14 (26)	9 (45)	17 (22)
知らなかった	85 (57)	23 (43)	7 (35)	55 (72)

( ) 内の数字は市民活動への参画状況 (Q8) ごとの回答の割合 ※単位：%

亀岡市の中間支援組織、施設の認知度についての質問については、知らなかったが56%に上る。市民活動への参画状況ごとに認知度をみると、活動内容まで知っていたという回答は「市民活動に関わっている」事業所の31%で最も多かった。一方知らなかったとの回答は「かかわったことはない」事業所の72%が最多となっており、全体として知名度は高くないが、市民活動への参画状況により認知度に差が見られた。

Q 2 4 市民活動団体等との交流会やマッチングの機会があった場合利用したいですか？



選択肢	回答数
利用したい	63
利用したいとは思わない	87

活動団体との交流会やマッチングの機会については利用したいとは思わないが利用したいを上回る結果になった。しかし、利用したいと考える事業者が一定数いることが確認できた。

Q25 活動団体や行政、中間支援団体に協働に関して求めることがあればご自由にご記入ください。

- ・さらなる情報提供を願います。
- ・地域の情報共有をしていただき、何かあれば連絡をお願いする。
- ・行政、NPO、ボランティアと連携して出来る事を考えたいと考えています。私たちに何が出来るのか？何をすればみなさんに貢献できるのか？ご指導頂ければ嬉しく思います。
- ・財政面での支援が必要。
- ・住民の方と企業の経済活動をつなぐパイプ役になって企画、提案をしていただきたいと思います。
- ・活動実施にあたり市関連部署や団体などへのお引き繋ぎをお願いすることがあるかもしれません。その際には何卒よろしく願いいたします。
- ・活動の透明性保持。
- ・これからも、活発な活動に期待します。
- ・今後も各種イベントには積極的に携わり地域社会の発展に貢献していきたいと思います。
- ・協働に関して内容によって活動が出来ると思えます。
- ・前向きな意見を吸収しながら形に出来ればと思う。子供たちやその子供たちがずっと住み続けたいと思う亀岡になればと思う。
- ・今後は色々な方に活動してもらい広めていく必要がある。また要役の方は、年配者が多いので後継者となる会員が少ない。組織改革・組織の若返りはもっとも重要。
- ・現在、各種団体で同じ方が活動されていることが多い為、各人の負担が大きいように思う。

協働に関して求めることを問うたところ、情報提供、共有、団体とのパイプ役など情報に関する要望が挙がった。また今後の市民活動についての積極的なご意見や、活動団体が抱える課題についての言及もあった。

今回の調査では、今後の協働推進の参考とするため、亀岡市内の事業所の市民活動への参画状況や意識についての調査を行った。

参画の状況については、回答事業者の半数弱が現在関わっているか、過去に関わっていた。参画の内容については事業内容にかかわらず協力できる内容が多かったが、中には事業の特性を活かして活動を主催している事業者もいた。企業の社会的責任を果たそうという意識を持って活動し、結果、地域との信頼関係を築けたことにメリットを感じる事業者が多い傾向も分かった。

市民活動に関わるきっかけとしては、自発的というより外部からの働きかけがあったことによるものが多く、逆に、関わっていない理由としてきっかけのなさや情報が得られないことを挙げる意見も多かったことから、積極的に情報提供をし、参加の呼びかけをすることで、参加を促せる可能性がある。

あくまで、時間的・人力的余裕があった上で、本業に影響が出ない範囲での活動への参加となるためできる範囲・量は限られるが、参加に対して積極的な意見を持っている事業者が多かったことは、希望である。

この結果を参考に、より事業者にも参画いただけるよう、かめおか市民活動推進センターの認知度向上を図りつつ、協働推進事業を進めていきたい。